

「第17回読初（よみはじめ）の儀」を開催します

2020年度は、旧閑谷学校が創学して350年になります。普段立ち入ることのできない国宝の講堂で、論語を朗唱する新春行事「読初（よみはじめ）の儀」を開催します。旧閑谷学校にとっては「学校びらき」であり、参加者にとっては1年の決意を新たにする「勉強はじめ」となる儀式です。どなたでも参加でき、国宝を身近に感じることのできる機会です。ふるってご参加ください。

記

内 容：孔子の像に拝礼したあと、講堂で、論語を朗唱します。教材は振り仮名付きで、解説もあり、初めての方でも親しめます。続いて、有志が1年の誓いと抱負を披露し、全員で、講堂のヒノキの床を磨きます。

日 時：令和3年1月4日（月）10：00～（受付9：00～9：50）

会 場：特別史跡旧閑谷学校 講堂

定 員：15人（定員になり次第締切）・・・一般参加者

参加費：無料

※ただし、史跡入場料（大人400円、小・中学生100円、65歳以上200円）

申込方法：当日、9：00～9：50に史跡入口で申し込み。（事前申込不要）

持 参 品：講堂の床の保護のための、**重ね履き用の靴下が必要。**

そ の 他：当日は、孔子像が一般公開されます。一般公開は年に二回しか無く、間近に拝観しながら学力向上・受験合格などを祈願するチャンスです。

旧閑谷学校は、岡山藩の直営で1670年（寛文10年）に創設されました。「読初の儀」は、新年にあたって学問への決意を新たにする儀式として1711年（正徳元年）1月に始まりまし
た。明治維新・廃藩置県に伴って一時期廃止されましたが、2005年（平成17年）、江戸時
代の伝統行事に親しんでもらい、論語の精神を現代に生かそうと顕彰保存会が復活させまし
た。

厳冬期、昔ながらの作法で花頭窓（かとうまど）を開け放ち、背筋をピンと伸ばして執り行わ
れます。参加者には「凜として、厳粛な気持ちになる」と人気があります。

（今年の様子）

